

新型コロナウイルス感染症患者に向けた 常時見守り体制の構築



- 山梨県では、宿泊療養施設において、県が開発した「スマホによる見守りシステム」を運用

【特徴】

- (1) 健康管理を行う看護師のほか、遠隔地のオンコール医師とも**対面で繋がる3画面（患者・医師・看護師）**システム

- ・ **3者が同時にテレビ通話**を行い、顔色等を確認することで問診精度が向上
- ・ 看護師からプッシュ型による常時見守りを実現
- ・ 患者からも画面タッチのみで看護師の呼出が可能

- (2) 朝・夕の**定期問診を患者のスマホから報告・集計**するシステム

- ・ **健康観察項目（体温・SPO2等）を自動集計**し、患者のデータ管理を効率化
- ・ 患者の状態を画面にアラート表示し、緊急時も迅速な対応が可能
- ・ 看護師の健康観察に要する事務負担を大幅に軽減

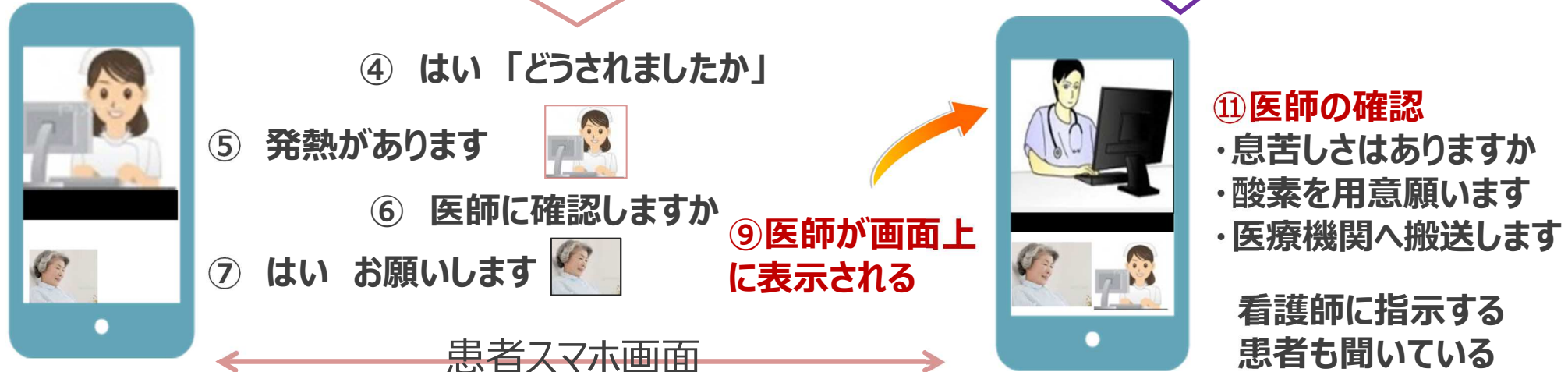
※ このシステムの活用により、「**自宅療養者**」についても**安心の見守り**が可能

(参考① 3画面見守りシステム 概要)

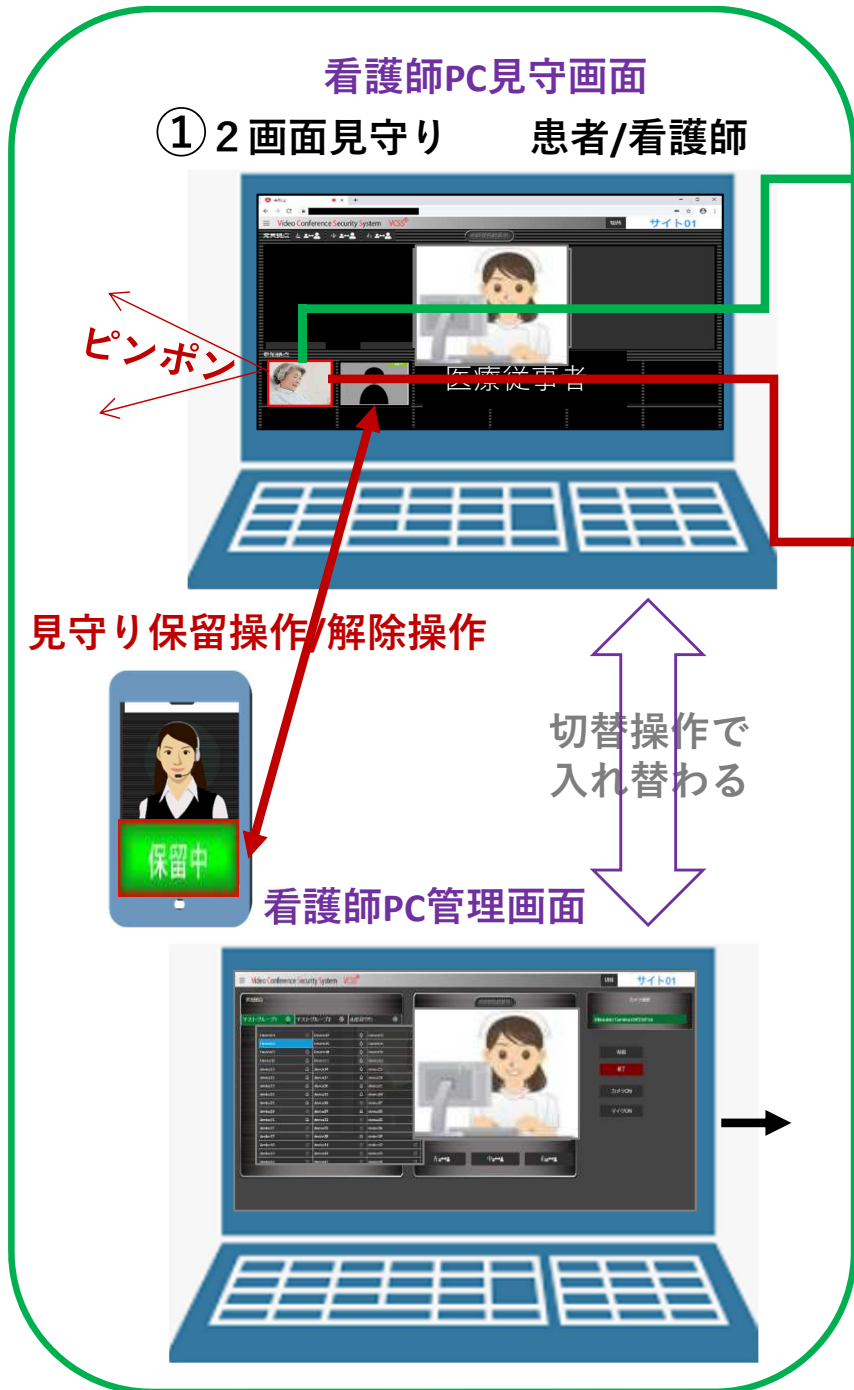


状態悪化時の呼出は画面タッチのみ/基本、看護師が常時見守り

※ 毎5秒で移動する小画面ウオッチで異常があれば、看護師が小画面をクリックし、声がけすることも可能



(参考② 患者/看護師+医師の参加連携の方法)



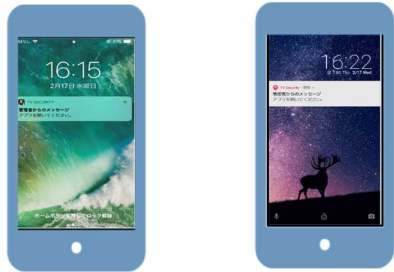
② 看護師呼び出し (通常) 操作



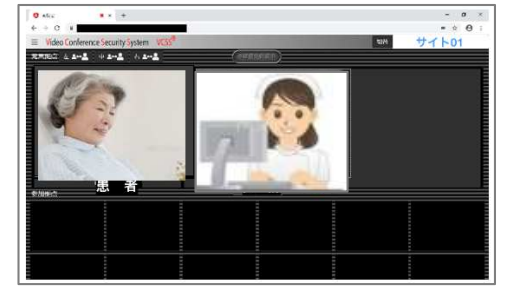
* プッシュ通知機能

スリープ状態やアプリが落ちてる時にプッシュ通知で患者へ知らせる機能

Android / iPhone



③ 患者/看護師・通常



患者側



医師の参加は看護師の操作で行う

④ 患者・看護師+医師

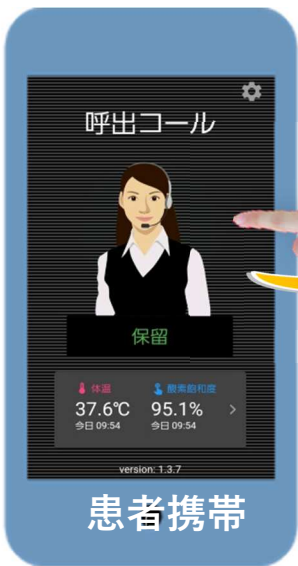
3者間連携で緊急即応体制



(参考③ 健康観察項目の報告・集計)



(参考④ 3画面見守りシステム+患者情報表示)



患者携帯



看護師PC

看護師の操作により、医師も繋がる
ことが可能

- ・看護師PCで全員を見守り
- ・右側の赤枠は体調の優れない患者全体より上より表示し悪化傾向をいち早く探知する
- ・右側バイタル数値を隠し、患者画像をより見やすくすることも可能



患者携帯

- 患者携帯
- ・各部屋での見守り状態
 - ・直近のSPO2と体温が表示

- ・患者が携帯をタッチし呼び出すと、PCの下12画面で当該患者画像が赤枠点滅
- ・クリックで接続、「どうされました」と通話可能

看護師PCは個別患者情報をグラフと時系列で確認が可能



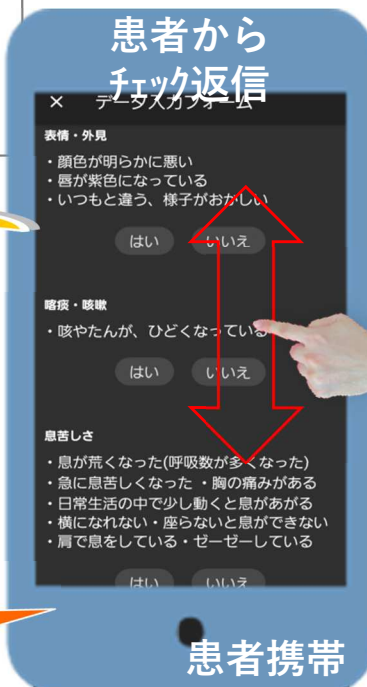
看護師PC



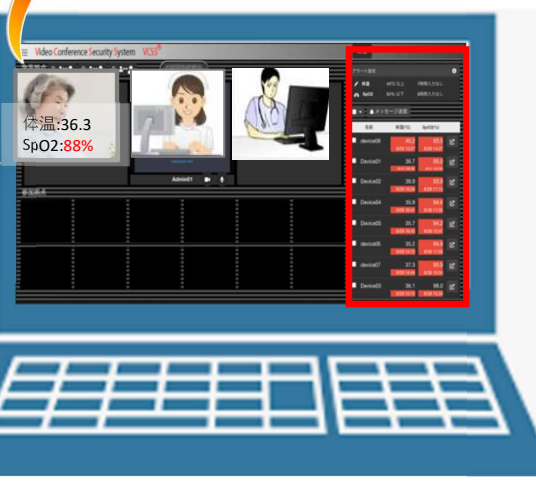
切替



看護師PC



患者携帯



- ・看護師PCへ朝夕の健康観察項目が患者携帯より送信され、各項目表示される
- ・切替でグラフ表示・時系列での体調管理が可能

朝・夕健康観察項目を一斉送信

- ・返信なし、又は要注意患者は、個別に看護師がコールし健康観察項目を問診、記入
- ・右側は個別患者の体温・SPO2時系列に表示